



新宿山吹だよりは、保護者の皆さんにも読んでもらって下さい。

多様な文化の尊重（クリスマスに関連して）

校長 永浜 裕之

グローバルな社会で生きていくためには、多様な文化を尊重することが重要です。

生徒の皆さんが今、ニューヨークで暮らしていると仮定すると、クリスマスシーズンは最も気を使う時期です。今回は、特にユダヤ系の方たちへの配慮、文化の尊重について書きます。知識として宗教の話が出てきますがご容赦ください。

まずクリスマスシーズンという言葉がNG(No Good)です。クリスマスは「Christ+Mass」、つまり、「キリストのミサ」の日であって、仲間と騒ぐ日でもなければ、恋人とデートする日でもありません。よって、「ホリデーシーズン」と言います。また、この季節は華やかなクリスマスツリーが飾られますが、これも「ホリデーツリー」と呼びます。年末年始の挨拶で使われる祝辞も「Happy Holidays!」です。

クリスマスカードはキリスト教徒同士が交換するもので、宗教色のないカードは「Season's Greetings」と書いてあります。米国のエリートにはユダヤ教徒が多いのですが、その方に間違っても「Merry Christmas」のカードを出してはいけません。

ユダヤ人はクリスマスではなく、ハヌカーと呼ぶ祝祭日を祝います。「今年のハヌカーの初日は12月2日」のように、ハヌカーは毎年日が変わります。「あなたが今月お祝いするのはクリスマスですか、それともハヌカーですか？」という質問に対する答えがクリスマスならキリスト教徒、ハヌカーならユダヤ教徒です。クリスマスとハヌカー、両方祝うことはありません。

アメリカの農村部にユダヤ人は少ないのですが、大都市とその周辺は非常に多く、最大の居住地はニューヨークです。ビジネス界、マスコミで活躍するほか、大学教授や芸術家、医師など、高学歴で高度な専門職のアメリカ人の相当比率はユダヤ人です。米国で暮らす場合、周辺のアメリカ人がキリスト教徒なのか、ユダヤ教徒なのかは、知っておいた方が無難です。ユダヤ人は姓がコーエン、〇〇スタイン、〇〇バーグの方が多いのですが、尋ねても失礼にはあたりません。知らずにクリスマスカードを送ったり、「Merry Christmas!」と言ったりする方が、よほど失礼で非常識にあたります。

米国で日本人が誤解を受ける点の一つに、「あなたが信仰する宗教は何ですか？」と聞かれた時の対応があります。日本人は世界標準と比較して宗教に関心が薄い人が多く、「特に信仰する宗教はありません」と答える人が多いのですが、この回答は誤解を招く可能性があります。無宗教は、神をも恐れない傲慢な人と思われ、無神論者、共産主義者と同一視される恐れがあります。米国にも信教の自由はありますが、無宗教を許容する寛容さは少ないと感じます。よって仏教などと答えた方が無難です。

さて、ユダヤ教は、ユダヤ民族が信じる世界最古の一神教です。ユダヤ教から生まれ、民族を超えて世界宗教となったのがキリスト教です。キリスト教の聖典は、「旧約聖書」と「新約聖書」ですが、「旧約聖書」はユダヤ教の聖典でもあります。「天地創造」「ノアの箱舟」などは旧約聖書の物語で、ユダヤ教徒にとって幼い頃から聞き慣れたものです。

ユダヤ教とキリスト教の違いを簡潔に言えば、ユダヤ教は十字架にかけられたイエスを「預言者」とは認め、「神の子」とは認めないのに対し、キリスト教ではイエスは「神の子」であり、神が遣わした救い主「キリスト」だと信じることにあります。ユダヤ教では、「救い主はいまだこの世に遣わされていない」と考えるのです。

世界中に散ったユダヤ人を民族として結束させるのは、言語ではなくユダヤ教です。ユダヤ教は、日常生活に影響のある様々な戒律、特に食のタブーが多く、また、それがよく守られていると言われていました。よく知られているのが豚肉を食べないことであり、そのためハムやソーセージもNGです。欧米系のエアラインで、機内食で豚肉類が供せられないことがないのはこのためです。ちなみに、航空会社は「ムスリム・ミール」、「コーシャ・ミール」などの特別食(宗教食)を用意し、宗教に配慮しています。

さて、豚以外にも食べてはいけない動物は山のようにあり、それらはすべて、旧約聖書に明記されています。馬、らくだ、いのししなど、蹄がないか反芻しない獣、鳥では肉食鳥はご法度です。ウロコのない水産物もご法度で、エビ、イカ、タコ、貝類、鯨、全部禁制品です。それでは、「牛や羊、鶏などは自由に食べてよいのか」というと、そういう事ではなく、屠殺前に律法通りのお祈りをした肉以外、食べてはいけません。米国のスーパーの肉売場では、お祈りをして屠殺した清浄な肉「コーシャ(kosher)」と書かれたコーナーがあり、敬虔なユダヤ教徒は必ずコーシャの肉を買います。

「食い合せ」の禁忌もあります。聖書に「母の乳で子牛を煮てはならない」と書いてあるため、シチューを作るのは難しく、鳥類の場合は、親鳥とひな鳥、鶏肉とたまごは「食い合せ」になります。ユダヤ人に親子丼などを出すのは論外ということです。また、安息日である土曜日は労働禁止日であり、火を使った料理はできません。

こういう話をすると、日本人の多くは馬鹿馬鹿しいと感じるかもしれませんが、これが宗教というものです。キリスト教徒のアメリカ人はユダヤの食習慣をよく知っていて、それを尊重しています。宗教に無関心なのは結構ですが、お互いの習慣の違いを知り、それを尊重することは重要だと考えます。

定時制 大使館 定時制情報科 高橋 正憲 通信制 裁判傍聴学習 公民科 中村 祥太

12月2日(月)に、海外派遣研修でUAE(アラブ首長国連邦)に参加した生徒4名(情報科2部の藤井彩寧さん、岡留鈴夏さん、篠原悠希さん、森村舜さん)が、パレスホテル東京で開催された駐日UAE大使館主催のUAE第53回建国記念祝賀会に招待され参加しました。会の冒頭で、駐日UAE大使の挨拶、日本からは松本外務大臣政務官からの挨拶がありました。途中、小池百合子都知事が急遽参列され、生徒たちと写真撮影をしました。生徒からは、「小池都知事から「UAEは楽しかった?」「世界はまだまだ広いからね」と優しく声をかけてくださった。」「海外派遣研修で、現地に行ったらからこそUAEを深く知り、とても好きになったので、今回の建国祭をより親近感を持ってお祝いできて良かった。」との感想がありました。小池都知事との想定外の対話は、生徒たちにとってサプライズでした。

11月20日(水)に、第二東京弁護士会による裁判傍聴の学習に生徒16名が参加しました。当日傍聴した裁判は2件で、1つは外国語通訳の入ったものでした。開廷から判決までを1回で聞くことができました。もう1つは窃盗に関する裁判で、事実について争っているものでした。証人尋問が行われる様子を傍聴しました。どちらも興味深い裁判で、事前事後にいただいた解説もあわせて大変勉強になりました。参加者からは、「裁判官、弁護士、検察の方々、裁判前後の弁護士の先生がすごく慎重に言葉選びをされ、誰かの人生を自分の言葉で左右するお仕事をされているだけあって、一言一言の重みが私たちと違うのだろうなと思いました」などの声があり、実際に裁判に触れ新たな気付きを得られている様子が見られました。

通信制 NHK高校講座 収録見学会 国語科 新村 久瑛

11月24日(日)に、NHK高校講座の収録見学会に参加しました。生徒10名が参加し、2班に分かれてNHK放送センターの中を見学しました。当日見学したのはNHK高校講座「家庭総合」#36「買い物で失敗…どうしよう?」の回でした。スタジオで直接収録を見学し、カメラチェックの様子や照明・音声担当との連携、出演者の方々の柔軟な対応力などを見ることができました。また副調整室も見学し、プロデューサーやディレクターの方々の仕事内容を学びました。番組としてカードで買い物をする際の注意点などを扱っており、今後キャッシュレス社会で生活する上の重要な知識を得ることができました。収録見学以外に大河ドラマのセットや空きスタジオ等を見学させていただき、スタジオで記念撮影後、食堂でNHKの方を交えて意見交換会を行いました。「多くの役割の方々が携わってひとつの番組を制作していることがわかった」など様々な感想があり、普段見ることができない貴重な現場を実際に見たことで、視野が広がったようでした。

通信制 JICA講演 公民科 中村 祥太

12月3日(火)に、JICA国際協力推進員の方によるオンライン講演を行いました。講師は、ヨルダンのザアタリ難民キャンプでの活動経験があり、1月にヨルダン派遣研修に行く生徒と希望者に対しお話しいただきました。ヨルダンの宗教や食文化、都市の様子について、写真や実体験をまじえてお話しいただいたほか、難民キャンプの実態や青年海外協力隊の活動についても詳しくお話しいただきました。10年以上経過した難民キャンプが1つの街のようになっている様子や、スーパーマーケットで生体認証を用いて決済が行われていることなど、常識を揺さぶられる話が沢山ありました。参加者からの質疑応答にも予定時間を超えて答えていただき、特にヨルダンに派遣する生徒は、現地で調べるテーマについて理解を深めた様子でした。

通信制 DXハイスクール 数学科 喜岡 翔太

11月28日に、PC8台とプリンター1台が「yamabuki デジタルラボ」となる通信制研修室に配備されました。また12月6日には、「yamabuki デジタルラボ」で、最初のイベントとなる『生成AIでキャラクターをつくろう』が実施され、生徒たちは缶バッジを製作しました。
【① AIと生成AIについての説明】
【② AIで画像生成・缶バッジ制作】
【③ AIを使った仕事とはどんなものか、AI、IoT、ITを仕事にするには何をすべきか】の3点を学びました。

通信制 東京ジャーミイ見学 数学科 喜岡 翔太

12月5日に代々木上原の東京ジャーミイ・ディヤナト トルコ文化センター内のモスクとハラルマーケットに訪れました。生徒5名が参加し、モスク設立の経緯やイスラーム文化を学びました。ガイドの下山さんから「豚肉を食べてはいけない理由」、「アラビア数字の形と意味」、「トルコの原種チューリップの育て方」など、幅広い分野のお話をお伺いすることができました。また、モスクの見学では、ミナレット、アーチ状の外郭、天井の装飾、ステンドグラスなど、日本国内において、ここでしか見ることができない箇所をたくさん見学させていただきました。



家庭総合では、多文化共生の観点から世界の食文化の学習をしています。通信制生徒4名がヨルダンへ派遣(R7年1月7日~1/14日)されるので、12月7日のスクーリングでは、ヨルダンの地政学的特徴について学習し、ヨルダン料理「マンサフ」の調理やフムス、デザートを試食を通して「ハラル食」について理解を深めました。バターで炒めて加塩して炊いたバスマティライスの上に多種のスパイスとヨーグルトで煮込んだ羊肉を載せたとても味わい深い料理で、好評でした。マンサフ⇒

通信制課程 学校行事予定

12月21日(土) 山吹祭/学校説明会
26日(木) 冬季休業日(始)
27日(金) 閉庁日
1月11日(土) 後期スクーリング-11

定時制課程 学校行事予定

12月21日(土) 山吹祭/学校説明会
25日(水) 全校集会/卒業予定者連絡会
26日(木) 冬季休業日(始)
27日(金) 閉庁日
1月8日(水) 授業開始

↑生成キャラクター 缶バッジ